

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 5

福音書において（5）

天においても地においてもいっさいの権威が与えられている方、手順を経た三一の神の中心、昇る太陽、サマリヤ人

聖書：マタイ 28:18-20. ルカ 1:78-79. 10:25-37

I. 天の王国についての書であるマタイによる福音書の終わりに、主イエスは天においても、地においてもいっさいの権威が与えられている方としてご自身を提示しています—— 28:18-20 :

A. 主は神性において、神のひとり子として、万物に対する権威を持っていました。しかしながら彼は復活の後、人性において、人の子として天的な王国の王となり、天においても、地においてもいっさいの権威が彼に与えられなければなりません—— 6-7, 10, 18 節。

B. 主にいっさいの権威が与えられているのは、信者たちがすべての諸国民を弟子とし、彼らを三一の神の中へとバプテスマするためです—— 19-20 節 :

1. いっさいの権威が彼に与えられていたので、天的な王はご自身の弟子たちを行かせて、諸国民を弟子とするために遣わしました—— 19 節。

2. 諸国民を弟子とすることは、異教徒を王国の民とし、地上で、今日でさえ神の王国、すなわち召会を設立することです——ローマ 14:17. 啓 1:6. 5:10。

3. 他の人たちを弟子とすることは、彼らを天的な王国の真の被統治者とすることです——マタイ 4:17. 5:3。

C. 召会生活における、また務めにおけるわたしたちの間の権威の基礎は、復活です——Ⅱコリント 1:9. 民 17:1-10 :

1. わたしたちが神から受けて、わたしたちに権威を与えるのは、復活の命です——ヨハネ 11:25. Ⅱコリント 1:9。

2. 復活がある所には権威があります。なぜなら、権威は天然の命ではなく、復活にかかっているからです—— 3:5-6. 10:8. 13:10。

II. マタイによる福音書において啓示されている復活は、手順を経た三一の神の中心です—— 28:19. 12:28. 16:16-19. 17:2, 5 :

A. 第1章において、聖霊、子なるキリスト、父なる神がおられるのは、人なるイエスを生み出すためです。イエスは、エホバ救い主またわたしたちと共におられる神として、三一の神の具体化です—— 18, 21, 23 節。

B. 第3章において、わたしたちは御子が開かれた天の下でバプテスマの水の中に立っており、その霊がはととして御子の上に下り、御父が天から御子に語ることの絵があります—— 16-17 節。

C. 御父は御子の中で表現され、御子は御父の表現であって、その霊として実際化されます——ヨハネ 1:18. 14:10-11, 16-20。

- D. 御父、御子、その霊に関して、わたしたちは「源」、「表現」、「実際化」という三つの極めて重要な言葉を用いることができます。御父は源であり、御子は源としての御父の表現であり、その霊は御父の表現としての御子の実際化です。
- E. キリストが手順を経た三一の神の中心であることは、弟子たちが人々をキリストの中へとバプテスマすることによって、彼らを手順を経た三一の神の中へとバプテスマするためです。人々を主イエスの御名の中へとバプテスマすることは、彼らを三一の神の御名の中へとバプテスマすることと等しいのです。なぜなら、キリストは三一の神の具体化であり、三一の神の中心であるからです——マタイ 28:19. 使徒 8:16. 19:5. ローマ 6:3. ガラテヤ 3:27.

Ⅲ. わたしたちはキリストを昇る太陽として経験し、享受することができます——ルカ 1:78-79 :

- A. キリスト、人・救い主、わたしたちの人の救い主は、地から来たのではなく、「高い所」から来ました。これが示しているのは、彼の源は天であるということです。彼は昇る太陽として天から来ました—— 78 節。
- B. 救い主イエスは、暗い時代に対する引き寄せる太陽です—— 79 節 :
1. 昇る太陽としてキリストは暗やみの中に、また死の影の中に座っている者たちに現れました—— 79 節 :
 2. 彼はわたしたちの救い主となるために、光に満ちている方でなければなりませんでした——ヨハネ 1:4-5.
- C. キリストはわたしたちに対して輝き、わたしたちの足を平安の道へと導きます。キリストの輝きのゆえに、クリスチャン生活は平安の生活です——ルカ 1:79.

Ⅳ. 良きサマリヤ人のたとえにおいて、キリストは傷ついた者を救うあわれみ深いサマリヤ人として描写されています——ルカ 10:25-37 :

- A. このサマリヤ人は、失われた者を探し求める、罪人を救う務めの旅における人・救い主を表徴します—— 19:10.
- B. サマリヤ人は墮落し、律法によって打たれた罪人をあわれみをもって顧みました—— 10:30-33.
- C. 良きサマリヤ人が死にかかっている人を顧みたことについてのすべての面が描写しているのは、人・救い主の神性を伴う人性における、あわれみ深い、優しい、満ちあふれる顧みです—— 34-35 節:
1. 人の傷に油とぶどう酒を注ぐことは、彼に聖霊と神聖な命を与えることを表徴します—— 34 節:
 - a. その霊は和らげる油であり、神聖な命はその霊を通してわたしたちを元気づける要素としてのぶどう酒です——詩 104:15. マタイ 9:17. ヘブル 1:9.
 - b. 人・救い主がわたしたちに來たとき、彼はご自身の霊と神聖な命をわたしたちの傷の中へと注ぎました。わたしたちは救われた時から、聖霊が神聖な命をもっていやすことを経験してきました——ルカ 10:34 前半.
 2. サマリヤ人はその人を宿屋に連れて行きました。このことが示しているのは、彼がその人を召会に連れて行き、召会を通してその人を顧みたということです。今

日、地方召会は「宿屋」であり、それを通して、人・救い主はわたしたちを顧みます—— 34 後半-35 節. I コリント 1:2. 7:17。

© 2010 *Living Stream Ministry*